内閣文庫

一をまづをとこのかたくサルオ河誘ヨゴヅリコシラフ櫃ヲコヅル細了
簡しくらんとく○とも物　誘ハ。日中紀。をまづをとこ。
をとづをとこもとまりをとこ。いなばもとくなり。櫃ハ。舒の川子
同じくのをとこ。をまづをとこ。ハ。ものよりあるをとこ。細了
の注ハ。ものひとをもとんで。ハ。結ず五思ひ始らをとこ。
なをとこのをとづをとこあやまをとこ。
一ものはけよ。おりひなをとこ。
大をとこ。おりひなをとこ。かくをとこ。サ二オ云注
はけをとこ。ものはけよ。おりひなをとこ。○とも物
をとこ。

一なをとこかくをとこ　サ二ウ河なをとこてのをとこ○とも物
なをとこてのをとこ。

のことく。

一かつらもとのきよう人まろ世三オ○とち鞍　和名云
説文云鞍（音安。字或作鞍。和名久良。馬鞍也。唐
時期考云。）俗有二唐鞍・後鞍・結鞍等名。

実清なるをあくこそ紀めなるのうつ〻ハ約めなるこそをけ
一野いてゝいとをもく世四ウ○とち鞍　驚駭（イハケテ）日本紀　喘息（イハケテ）同上
いとをもく。いとけなきをもの。同じ。をくるつ。ハ。ぐ。詞をたつ。をもを
いうゝけなく。大事なるをもいつ。ぐ。六帖
まとこよ。

一おかるをもをもをもく世五オ河
身はるをもを世はいきをもはいるを大ぞ若かるん

○とち鞍　世ぐ。仏のよあくこそをぐ。古今
世はいはゝを若ゝをもはりのんちらはんを恨ゝをもぞ
はをかを。ゝをくゝをもゝをの鞍。古今
大宣ハこもり鞍人はゝくゝをハ物はりのぐゝを海ゝをん
はゝをもをゝをもゝを。

一命をゝ人仏をゝをもをび世四十一ウ河
命をゝ人仏をゝをもをびをゝをゝをぞをゝをぐゝをゆ

○とち鞍　見ゝを人ゝを。
命ぐゝを仏をゝをもをゝを物をゝをぐゝをゝをゝをほし
をゝ物をゝを命をゝをゝを物をゝをぐゝをゝをゝをぐゝをゝをゝ
世二首はゝ。ゝをの句を。ゝをぐゝをゝ引ゝをゝこゝをの句は
仏をゝをゝを。詞をゝをゝをゝをゝをゝ。

一 [illegible]

一 いつとなくさとりもしよ 四十三ウ（しら梅　さとり[illegible]

さとりはげよりつゝ。古今

村雨はなみつゝぶれを[illegible]

一 いづくとなくさとりはげめん[illegible]

○しら梅　古今

[illegible]

一 [illegible] 四十七ウ 細[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋はぎのさかりなるを見てよめる　[illegible]

一　[illegible]　[illegible]

吾せこをいつもまつとぞ[illegible]

一　[illegible]

○と歌　[illegible]

[illegible]

彼[illegible]

[illegible]

[illegible]

一　[illegible]　五十二ウ　孟

[illegible]

○と歌　[illegible]

[illegible]

一　[illegible]

○と歌　たつた[illegible]

[illegible]

一　[illegible]

天鈿女命。[illegible]　古語拾遺云。

[illegible]

[illegible]

一ひとりとりかけてゐるもの。三十オ

○とし梅　結城白記。女おやとふ人ありあるハ[illegible]

ひとりうまづしく[illegible]のそばあけ[illegible]ひとり[illegible]

[illegible]ね。こゝ山[illegible]かくあるを[illegible]

[illegible]せくわづらふ[illegible]。こゝ梅おぼえざりし[illegible]

[illegible]をみおぼゆ[illegible]。さこゝ[illegible]

[illegible]。けふ[illegible]日よりぬ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]。六十オ○とし梅　[illegible]

[illegible]

一[illegible]。又[illegible]

[illegible]。○とし梅

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

○とし梅　連[illegible]

左

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

或所語云一日江州ヨリ上洛之間於會坂時雨
ニ逢石門ニ立入テカシコクヌレスト云ヘリ是優艶義
欤而懐圓向云関石門ニハ何様ニ被立入哉門侍
欤云ヘリ懐圓咲テ其ハ石ノ廉ニテ侍不知給欤不
便ヘリ云ヘリ良暹閉口懐圓度々蒙難者也但為

仲哥ニアツマヒノコトヲイテヤセンホトトハキ
如此者石門欤又彼失欤　歟按後拾遺五
[illegible]

一[illegible]六十五才ノ[illegible]　大和物語
[illegible]
[illegible]

一 [illegible] 六十五オ ○と鞍 板
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]ナウ○こゝ[illegible]　[illegible]

一いとゝ[illegible]ケ[illegible]七十ウ○こゝ[illegible]　河[illegible]

磐城[illegible]

[illegible]

[illegible]

御法

一 [illegible]

○[illegible]

万代の[illegible]

[illegible]

一 百[illegible]

[illegible] 百[illegible]八百[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

入三於冥の如し。和家或ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

幻

一 [illegible] 二オ

○こと梅 [illegible]

一 [illegible]

○こと梅 [illegible]

[illegible]

六帖 [illegible]

同 [illegible]

[illegible]

一 [illegible] 三オウ ○こと梅

古今 [illegible]

一 袖はぬれ [illegible] 五ウオ 細

[illegible]

○こと梅 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible] 八ウオ 河

[illegible]

○こと梅 [illegible]

[illegible]

一 [illegible] 十二ウ 花

[illegible]

一 かりぎぬ 前代の終りまでの名なり。

○こと葉 諸本如此

一 さもこそはとゝびめるこゝろあけものゝうぎ[illegible]

細 [illegible]

使 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

[illegible]

[illegible]

或ハ素盞嗚ノ尊ハ海外ニ渡ゼシ事ハ
住吉ノ大神ノ御ハ日本紀ニ見ヘタリ
ベキ事ナリ
のこゝろ
ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

大うち八月比植て世[illegible]ばかりのひハ粉やつゝ[illegible]紀
[illegible]ひとゝ[illegible]ハ[illegible]ば[illegible]
[illegible]
[illegible]

山院は波殿のやうにみえ、[illegible]
[illegible]
又子載条々、[illegible]河流の[illegible]舟、百首はかりなりける
対の[illegible]
[illegible]
百[illegible]
[illegible]
[illegible]
一
一[illegible]
○七夕　七夕詩、露憑[illegible]別淚、珠空落、露及明
朝淚不禁、[illegible]
一[illegible]二十才　細川殿

人は[illegible]
○七夕　[illegible]
人は[illegible]
月　寒五
[illegible]
[illegible]二首は上の句と[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一[illegible]
○七夕　[illegible]
[illegible]

[illegible]

雪隠

白宣

一 [illegible]

[illegible]

三 秋田かりの田のやどりうちさけるなれぬ[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]

[illegible]人の[illegible]

菊頭 更有菊條物老菊衰蘭三両叢 [illegible]

[illegible]人[illegible]

[illegible]

[illegible]

まくはぶ馬毛の白と用たるなり。

一 ゆかぶ　十三ウ　交参（マシラヒ）　日本紀ニ○と稱

日本紀ニ交参をまじらひとよめるなり。

一 ずりひとりとも人をいざなはつ　十四オ○と稱　古今

いとぎくまねくまねくまねきあはぬ間をまねきまねかつて

紅梅

一 ゆかぶ　五十オ○と稱　ゆかぶ

ゆかぶをゆかぶとよめるなり。

やとりをかてあをは遠ひくうぐひすなり。

一 けぢ　紀人はけぢをけぢくいとあぐらのはなはいのち

ゆかぶは可しうしうゆかぶ　五十ウ○と稱　新撰人保

氏のおとをねがはまほしう　同　ゆかぶ

うぐひすはうぐひすとよめるなり。

ちりさとはちりぬべき　金葉　ちりのはゆかぶ

ゆかぶはゆかぶとよめるなり。

一 さうしひとはひとをさうしとよめるなり。

一 さうし　十オ○と稱　阿蘇社之歌

さうしを佛とよめるなり。法の蓮華をいへるなり。

さうし佛はさうし　阿蘇社之歌

氏はうしとよめるなり。

一 うしうしとはうしはうしうしうし

一 [illegible] 十一ウ 河 [illegible]

[illegible]

○[illegible]梅 [illegible]

[illegible]

一 [illegible] 十三オ 河 化人 日本紀 越人 孟子○[illegible]梅

[illegible] 越人 [illegible]

一 [illegible] 十三ウ

花 [illegible]

[illegible]

○[illegible]梅 [illegible]

[illegible]

竹川

一 [illegible] 六丁オ

○[illegible]梅 [illegible]

一 [illegible] 十丁オ

○[illegible]梅 [illegible]

[illegible]

[illegible]

いせの海の [illegible]

あるべきものとぞ。ものふくこゝろあり。ものの山を
とりこうぶ。後板はなるべし。後家とりまゝ。沼形。

一 二十ばかりの時。蓮の葉さらうるる。十二才〇こ梅 古今の月
やうなるものとぞ。うゐせるや。

一 橋の女房。ものしるれ。ものとるる。十九〇
〇こ梅 菱の方 雪

雪はふくさくるむさくるる。ものしるれ。菱うる
一 橋の白いかるる。菱うる。袖いかるや。二十才
〇こ梅 こゝ人古人今。いかるれてゆくこゝ。
とりこゝ。ものとるる。

一 いかるれてゆくねる。世は一こゝ。
〇こ梅 はうる。ものるる。ものるる。

ものしるるこゝ。ものるる。ものるる。
ものるる。ものるる。ものるる。ものるる。
ものるる。ものるる。ものるる。ものるる。
ものるる。ものるる

歌詩撰二編法　号を号冊家集よ。

川とめて紀州家はけとあるこ若を丹延とうしたうぞそく

一　すだれくれたのもすれ紀行のようにうれ物とかりひ三ふれ世三

○と歌　さけちはたのこ〻ちうる年ぬぐしたのあい令憑くし。

人はてこ〻ちのもの〻れ人ぞのあこ〻ぞのあれくたのこ〻

憑ようすだれくはさうもものむれすれ行はうれ

ものこつはくはへうれ

一　法華はは紀ものくれしたいれんはたいれんは行く。

かくいこそ法くうゆくはは法はうどとよ紀たまつぬはむぐく

みも。四十三○と歌　新古今新十に大江匡房ありて

長とはうされこあ。はるは法はうく。ものこと長く。

はるはくこ〻ちの詞はは嬉しこ〻ちの人波波はぞぞぞぞぞぞ

赤染衛門にも、つりあるよ仕うり。

宇治十帖　橋姫

一　いでやこ〻ろ〻ろ〻ろ

一 ゆぐ 字ぞ。もくてこ。たたき。四十ウ ○と稿 万葉集九。羽
裏 とも。羽倉とも。むぐ。ものひとつ。そそつ。ものを。起
ものの詞。神代紀。育めて。ひひ。ひとつ。古事
記。八日足。ものの。古事紀。ものの。古事紀。ものの。
古語。

一 へんつぎ 六十オ 孟篇 突 ○と稿 ふるくものを。
掘井刑部入道。母といひし人の。遺せしとかたり。
きりぐと。渇れるものときく。篇續。篇續。
ものしく。篇續と出べ。
木竹の。ものと。竹。たくへ。木竹。
のものの。

一 ぬるしてむ。ぬるしてむ。ぬるしてむ。

和名云。考聲切韻云。鮴音小。今案。俗云。氷魚是也。
霜鶴之文而。尋其義非也。白小魚名也。似鮴魚長一二寸者也。
文字集略云。鮴音白。漢語抄魚呂反。

一 ゆやし 和名抄魚薄身。白色也。
まるで形まの薄身なる魚。
さゝと云くゝあるべし。

一 うるいうるび サヘウ〇こと物 出作米おうるび
あるものをあめるべしやうるいうるびとうるいうるびつ。

一 分さんうるいうること 三十オ 細
さゝ梅は青にあるものあめるべし。 油十
〇こと物 はるこゝなる出てゝるべし。

一 ひとゝひ ひとゝひ。世五オ〇こと物 和名云。唐韻
云。蝌音孩。漢語抄云比乎無之。朝生暮死蟲也

一 さゝらひ さゝらひ。世五オ〇こと物 ちゝさゝらひそうぶと
めくらのつるなすび。

一 かるへ かるへ。世六ウ〇こと物
うるいへ。うるいへつるへの物。世五オ〇こと物
叶也。

一 ぢちがぢ ぢちがぢ。世七ウ〇こと物 ぢちがぢ
きる同じ。日本紀第五。崇神五年紀に溢の字をは
ぢちがぢと訓ず。義解の字を訓
べし。

一 ぢうへ ぢうへ 四十三オ 細 引 秀
出作る物へ手作る物へ。高ぢ高ぢ人やぢうへ

○ちなみに　此引合の句ふかく出てうるわしく

推本

一かくる山ふもとの四五〇丁程　素堂御集にかれ
のさくらやまいの山ふもとにかくれ
一茨さくらかれば今ひとけそもるどもさくらの後さくら
細橋きく橋の山のさくらかれば茨さくらかれ
○ちなみに　此引合の句をもてるとの
一河ぞひ柳の五十オ河　六帖　要之
いと延河ぞひ柳みのはけば枝ふりたれどその枝をしぜび
○ちなみに　此句の八形くつあるを句作をもて載せたり。六帖

要之。

あるよりあるたうえくに柳はかりそめとくるは白ハさりけるを
常はさくらの枝をかりとぶをハうそうまたもたん
此つぎの柳ちくに今はかりの枝よ。河海ハとうけて要之
要之ちりひしまんくハ浪ちり。元六帖ハ作者をもてる事。
他は勅撰ぞく撰ぞくしてしば。あるハ。ぞくうえ初べ。やぞて
常はかりさくらの枝をかりとぶをハうそうまたもたん
みくつ。つ。四紀の歌あるをかりつぶけくもみくあり
べし

一山風に表はさくらの花ハ行ばこゆるもちはなる波哉
○ちなみに　海藻まき中
ゆくるの海ちくまの表をかりの表ある紀ちみ表のあ表風

一をちかたのかぜ　ハの波を風にうごかす竹風五十ウ

○をちかた　後拾遺集恋三よこうち成明。石山の歌。

久しうは思もしらぬ袖の波をうちかけてのみ見るかな

一あらしの山　伊勢物語に、あらしの山の桜浦風、伊勢大輔

伊勢ヶ浦ヶと。伊勢物語に、桜の花の間ひまなくうつるにも

なる山のうつるかと見たり。伊勢氏ものがたりに、山の

大輔の歌。

一あらしの山　のぞく。臨る。

詞花集。春風ハ

のぞく。臨る。

一竹の葉　のぞく。臨る。

詞花集。春風ハ竹の葉をのぞくとかいまとのぞくとも

けぢめかたくとかとかの歌なるべし。

一竹の葉風五十ウ　河簾屏風也。○竹の葉　和名云。説

文云。簾簀。蘆簀。蘆簀竹席也。方言曰。江東謂之簾簀。

渠除二音。和名。阿無師略。かゝるかぶ。あもしろ。

一野をとる　野をとる也。

○をとる　野をとる也。

一秋の月　秋の月。

○秋の月　秋の月。

一秋の月　秋の月。

○秋の月　秋の月。

[illegible]

一 [illegible]

○こと葉 [illegible] 杜三

一 [illegible]

何 四月はのちちがで 杜二

花 人[illegible]

○こと葉 諸本此

一 [illegible]

○こと葉 [illegible]

一 [illegible]

菜[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

むべく待しん 世八才 ○こと葉 後撰よ

[illegible]

あれば [illegible]

今は色服の [illegible]

一 雪ぶるよつくづく待るとく海は世を。拾九 花井歌集

雪ぶるよ神はあれつ [illegible]

○こと葉 源重は中納言 [illegible]

一 雪の [illegible] 杜十

細 [illegible]

事も [illegible]

家やどの [illegible]

一 いろ [illegible] 拾十 ○こと葉 いろ [illegible]

[illegible]

鵠音竜。和名曽比。日本紀。私記。用此字。文徳天皇実録。用鮫字。今按鮫虎鳥三字。見煎名苑。小鳥也。青翠而食魚。江東呼為水揺。[illegible]記ハ翠鳥

一 [illegible]

○[illegible]

角総

一 [illegible]

○[illegible]

和名云楊氏漢語抄云絡絲

理。下累反。他梁ヲ。梁ヲ同字ナリ。延喜式。九月神嘗祭注文云。金銅多々利二基。金銅麻笥二合。金銅世比二枚。[illegible]又同式ニ。楯ノ字モ用ヒタリ。和名ニ。楯ノ字ヲ[illegible]ヲ。細[illegible]ヲ。楯ヲ訓ク。楯ニ作ク。俗字ナリ。今義解ニ。金絲柱ヲ[illegible]ヲ。絲ヲ[illegible]ヲ線ニ[illegible]ヲ。六指ニ[illegible]ヲ絲ノ[illegible]ヲ。絡梁ニ。崇ヲ[illegible]ヲ。

一 [illegible]

○[illegible]

伊勢太神宮[illegible]

[illegible]

一 松の葉をとりてくつとしてもちひ。以水送飯。夢中求藥。

一 ちいさきのはをさきてうるかの葉をさきてうるかの葉にはさみ。雪にはけさきたれば。ほうかんうるかの葉にはさみ。雪にはけさきたれば。ほうかんうるかの葉にはさみ。雪にはけさきたれば。ほうかん

何

○とぶ鳥　はしかも。出でたるかと知らしぬ。

一　分もなげつべきたちもとる　世十才　奥入

　　[illegible]

○とぶ鳥　はしかも。今の世の出でたるかも。

一　[illegible]

○とぶ鳥　はしかも。人の詞をもけく。[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

○とぶ鳥　はしかも。[illegible]

　　[illegible]

○とぶ鳥　はしかも。[illegible]

一　[illegible]

○とぶ鳥　はしかも。[illegible]

一　[illegible]

○とぶ鳥　はしかも。[illegible]

一

三十一文。實和分金。始出播白。いろはん。薄白。油のひかり
らんとくりう。實和のはのかのはれば用へし。

一いづまる杉は行けん山里はすぎは法ふるうたるあと 六十二
孟おろ屋と家ふるとうたる杉いろくるを行るとく。○
七歩 八寸八。杉ふるうれしければ。それを杉は行は番と
ふるたるれり。悪敷はかはるをくんへし。孟はは法は
とび。

一杉をて休しを塗る本はは物をいれるてぞうは生風 六十
はを見ハ杉ぞはは法ふるはるとは白のふるうと。
番ふを行へるれり。○七歩 はは物はるるびは本はは。
るはのくまへくは塗をちはるは明り下の白ふは法ふ和
地をとをふしく。杉風をはれををうは本はるの法しを

ふをふ。ふ敷はのちふ敷はり。ふは皆人はは法ふ。ふを
ふ。いぞ知をふくはるはふのをふ番をは法ふのはり敷白く
敷はふは法ふのをとう。ふををくふ。八寸はは法ふをふを
ふのをふををふへふは法ふるはをふをふ。ふをふは法ふ
行ふ。ふは白ふをふふふ。ふをふふふふふ人はは法ふ。ふをふ
敷ふ。ふふふふふふふふふふ。

一ふをふふふふふふ物をはふる敷をふふふふ ふふ
敷はふる。八六十 細白ふは法ふ。○七歩 ふふふをふふふる
ふふふふふふふふふふ

[illegible]

一かの白とばいとかくかくかく

[illegible]

一 [illegible]

○[illegible] [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

きつふ[illegible]

一[illegible]

○[illegible]物　[illegible]

いつ[illegible]

ひ[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

人[illegible]

[illegible]

[illegible]

六帖貫八ふも入さうなるべし。

いまさくらの花のうへにかゝるべけれバ。

さくらの花ハ。何よりかくべきもの。

一ものゝ。いと面白かりし。六帖第二。春の部。

雪のかゝるまの山ぶきの花

ゆきあらしの。雪の。

いとゝ面のかゝるまの。

も。同。

一神垣の梅。

○とゝ結　後撰集。

神垣ふるゝ。

一ものゝ。

○とゝ結　ゆ。

ゆ。

一ものゝ。

○とゝ結　ゆ。

ゆ。

一ものゝ。

○とゝ結　ゆ。

ゆ

一いまゝ[illegible]十四○とも猫　毎尼ハ[illegible]

一人[illegible]神の[illegible]

細　神は[illegible]

[illegible]

○とも猫　神[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]十五

細[illegible]

○とも猫　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]十六

○とも猫　[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

河内万葉

[illegible]

○上野 山川郡 万葉の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

刺こいろく[illegible]

[illegible]

天皇御製長歌云。 古事記中巻應神

岐志那陁由布佐佐 美本杼理能迦豆伎倭岐豆

倭麻勢婆夜 久麻左野方息長之遠智能小菅不連尓倭苅持

久須久須登和賀 師名立都

来。[illegible]

物[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

王。逃無所入。則喚五十狹茅宿禰而歌之曰。伊豫
阿藝。伊佐智須區祢。多摩枳波屢。于智能阿曾餓
句夫苑智能。伊多氐於破孺破。珥保廼利能。久豆
岐齊奈。則共沉瀬田濟而死之。[illegible]
和名抄云。近江國野洲郡。近保在南北 近保郡もまた
[illegible]

寿生

一 [illegible] 柳子細 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[

みてもあぐべし。うつ酒ひとくはひとうりうがの酒はなし。

一 ひとうりうさとくさつ 生 細

鞠魚ハ青ハ赤ハ白ハ黄ハ紫ハ黒ハ

○上句 山川の。白ハ白ハ白ハ

[illegible]

一 [illegible]ながらの[illegible]哉　○とも[illegible]　万葉集十一云

ひとりゐ[illegible]面かげ[illegible]

琵琶行云。猶抱琵琶半遮面。

一 [illegible]

○とも[illegible]　[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

○とも[illegible]　[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

○とも[illegible]　[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

○とも[illegible]　諸本如此

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

○とも[illegible]　[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

○とう蛞　まいまいつぶり　ひるがほ　ひるがほ　ひるがほ

つばきをやぐらにみきをたてゝ六月の末ごろ方
竹の枝さしうゑるとうひしもやさへいひてつばきに方
ばかりの枝ばかりにて花ばかりの落ハほとゝ出ぬ枝ばかりに
とゞまる出る枝のみ多くなりてやがてかれぬる
万葉集に此須こすとよめるをかれぬ
寸十ばかりにうゑ植べし出びとゝあり。他しは須こす
たゞけとよめるをもべきなり。人ゝ案ずるに
別に須ゆとよめるをもべきなり。其外詞ようまとよめる植る出べき
ようにて植る出べきなり。
よ石上ふるゆきゝ田めりあり出びとゝ寸十ばかりにて紀
ほあいづまで切りしいとゝもあり植る出るのゝ
ようにて植る出べきなり

百十九

一菊はきぐさともいふ詞ひとそぐ 七十 細 菊はきぐさ野に紀
いへり。○と結 此詞は詞にうゑそゝるし
合くぼやしぐぞもとゝ歌ハ詞にうゑそゝるし
うゑ詞ひとあ歌ぐさ野にうゑるを舟の一結ぐさ又ぐさ
ぐさ歌ぐさ歌ぐさ歌ぐさ歌ぐさ歌ぐさ歌ぐさ
ぐさ歌ぐさ歌ぐさ歌ぐさ歌ぐさ歌ぐさ歌ぐさ
いふぐさ歌ぐさ歌ぐさ歌ぐさ歌ぐさ歌ぐさ
一詞ぞの名ハ熟 ○と結 詞花集に
のぶりはうきぬかうきぬ野のはぎハ
まぢかくあ歌ぐさ歌ぐさ歌ぐさ歌ぐさ歌ぐさ
一ちかくちかくあさぢ行ひはぎ 雑 ○と結 かくあのがり
ほべしぐどかくあさぢ行ひはぎ

一ちとせしらひげ九十六オ○と稿　有意（コヽロヨシトヨム）紀

四阿

一ちはやぶる神のいがきもこえぬべし　十二オ○と稿　にぬはけごろもたつ
ものをこそ　○と稿　ちはやぶるかみのいがきもこえぬべしこのたびは
ぬさもとりあへず手向山　紅葉の錦神のまにまに　十二オ細　あるひは
はつ人媒かとゝもの今もかからへる物ゆゑ　あるひは　ちはやぶる日本
ものを若べ紅葉　○と稿　ちはやぶる日本ものを媒はてゝ
此行ゝ　ちはやぶる媒はてゝ

戰國策云。楚王謂薛代曰。寡人甚不喜詆者言也。說苑敗
（紀神日詆徒紀反或作誕）薛代對曰。周地賤媒為其兩譽也。之男家
曰女美之女家曰男美然而周之俗不自為取妻且夫
處女無媒老且不嫁舍媒而自衒敝而不售。敝猶敗也。無
順而無敗售而不敝者唯媒而已矣。

一いとゆぶくかしこき男　十四オ○今按　史記。速の字
をゆぶけのことゝ。ゆぶくかしこきといふか。
一さくめきのりくゝ　十五オ○今按　延喜式第八。大嘗祭祝
詞云。引結磐葛目毋緩比。取葺計草乃噪皮。古語云藤々皮
此さくきと同じ詞也。噪はさくとよみ。さくめくゝそゝり
てゝるゝどかよりつゞきたる。草れすゝきに風ふるどよきうきある
をいつる也。さくめくゝやとゝ。ゆりくゝの乱るゝ心

なくぶ。字けさうた。潘岳秋興賦よ。素髮蘇無領（ハケチ エリ）

風の字と。同そこうハ用うゞ紀也。

一世こおゞ。ぎこん。十九ウ○今按 あゞまとゞ。ぎまて。同じ。あこく

同約こて。面せり。崇神紀よ。溢の字をたゞこゝとゝあり。

一足ぎりもこゞとなりこよけまゞ。あるゝと。廿五ウ○今按

あゝをこゝ。さてもあゝをゝり。

一うゝ行まのあをきなりしあゝも。ぱのこゞ川。サセウ

孟入道右府いまゝ陸とあゝつゝ。○今按

ぎゞ。れうきゝ海の事なゝべゝ。

一いまゝ朱ぎゝ。紙ぎ 三十オ○今按 万葉卷四よ

家持

かゞぎゝ。恵法ぎゝ。ぶゞ。ぎまゝ。物をゝの紙ぎゝ。

一物ぎゝ。ぎ。ぎこゝの紙ゝひのぎゝ。ぎゝ。廿十 伝

ぶゞ。ぎ。ぎ。ぎ

むつくりたるすがたにて。海面を。無数に浮たり。
岩陰ちかく。井手をせきとめ。
うゑぞめのべたる。
いつかり。

一 さいたるべたる四十五 不敬 持 仙源抄 流離 ○と稿 不敬持
もゆるて 時 抜 ○流離 敬 申 ○ 不 ○ 不敬持
諸本如此

一 いとゝ 紅 ○と稿 うつ 紅 ○ 四十四

一 ちるとも いつかうつ 四十四 ○と稿 五 ○ 四

夜 菅 抜 ○ ○ 四十七 細

一 ちひさ 四十七 細

あまを 海 ○ ○ 稿 ○ 海 ○ 海 ○ 海

式廿二。民部式上云。凡飛彈國。毎年貢匠丁一十人。同三十四。木工寮式云。凡飛彈國匠丁。三十七人。以九月一日。相共參著寮家。不得參差。飛彈國の書紀より起くるなり。本朝世俗物語びゝ書きくるいつゝ。百姿の書七ゝ。ひさうの人はもとゝ。ふの川とゝ。ちゝ。柏人とゝもいつゝ。ぞんかもゝ。ゝばの材木は。いつゝ。化しゝ。出ゝ。ぞさゝいつゝ。べゝ。

淳舟

一 きゝ。ゝ。柏人とゝ。ゝ。ぞゝ。ふゝ。ゝ。ゝ。

[illegible]

一 世[illegible]

○[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

○[illegible]

[illegible]

[illegible]

盃[illegible]

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

○[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

娘子把酒莫[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

○とう抽　彩古と素新一

朝ぎとう河の氷ふとうもみく寒るつうめと道ぎかしとに紀太郎

あくけうとと。氣用らかしとう。

一　おやけうとおやけうとおいかおと紀抽みとう。畑十二　○とう抽　或説。中文の

いいさめと。おやけうとおいかおと。うとおいかおと。引おかおと紙

りくとうとうぐしぼかおと。秘みかとうる姫とと。とへかとう。

下白けかとを用かとう。

一　かおとしとおかおと岸けうとおとうとかとうとと世とうとうとうとと五十

細こうはとうはとうはとうぐとこうとと。白紙とうとと用之。○とう抽　左文

とと。白とうとと。もしくとうとと白とうとと。さかどしおかおとこの白けうとう

ふうやとくとうとけおとうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとうとう

も白しとうとくとくとく

[illegible]

一黒びきの[illegible]

[illegible]

一[illegible]

障泥（和名阿乎利）敷鞍也。西京雜記云。玫瑰鞍以緑地錦爲薇泥。今案即障泥也。後精以熊羆皮爲之。

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

いつくしき様にんをを初めて其の目八枝四つけ多くへでに
或は自分と為れたるもあるもんで子の人さんいづくるる子ひさぎ
めあるよう所の子ひよ京都しかるさまあるべしといるとけよ
でくくしたばしたる事を女達系

ちいめ仕分をうれたるよるの法も思そねみよかくらばるれ
一 強れるび分をを捨てるうれるうけるうれる流さんとを社場へ七十八
○七十捨 うれ名れるでさんが入るせんで切り人八を行り
一 めれをでいかくかそをけをるれ美もさわくくとのを活
をせるる川 二七十 ○七十捨 見神
をるめ餓虎と分を投るもの べれ美れるかるる捨

蜻蛉

一 人はいくくを出人をば寺いくやくもかくく弱あり 四十八
○七十捨 雪山童子は句偈を写をりく。鬼神はるる分
を投るもしくば花神分を童尺と変くく捨けく飼け
生るを身より新くく行くば人はをもむべはるる。決定しあ。
一 うの○をれるくばそををめくいくく情は人をるる。
又かるれ事は世をいはをとるん尺生る。 四十八 ○七十捨 ようから
おをくがれるくばいをくかくるるあくだす猫を人はるを。
一 りのくくれををばよ捨りひるを人をくくうるる。 四十八 ○七十捨
捨りいる人ををるるばばれ捨るくをるけむを
一 有るかるくばとひをりばる行。 四十八 細
うれ人は有るかるくば猫をくばかけくれるはいをるばる

○とりあはせ　[illegible]

[illegible]

一　[illegible]　二十　細　右近　[illegible]

[illegible]

花宴　[illegible]

[illegible]

[illegible]

一　[illegible]

[illegible]

○とりあはせ　諸本なし

一　[illegible]

[illegible]　廿三　○とりあはせ　せんとあるべき[illegible]

[illegible]

一　[illegible]文[illegible]　廿三　○とりあはせ　自宮[illegible]

[illegible]

一　[illegible]　廿六

○とりあはせ　人よ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

○とある　[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

結人はいかゝとこゝろ初をとゝのへるこゝろ
一大將はたゝかひをいとなむこゝろ
孟　蓋し。内こゝに清入りたるものを
大はいかゝとこゝろ清きをいふ。女一をのゝをゝ
いかゞひれこのかゝるべくとこゝろ
一そもゝつまゝゝ　ひさまゝ
ゝ　五十　○と稿
さとるゝこゝろ　ゝ
一茶といへる名ゝ　茶に紀れたる　四十
○と稿　をゝれゝとうけゝ
一いとゝ　五十四　○と稿
細孟は清ゝにゝれゝ

へゝ　五十五　○
中をゝゝ
又はゝ
一ゝゝ　ゝ
と稿　ゝ斷腸
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ

手習

一いろはさよ　六十　孟　感捷　河辛○と稿　いろはとい

みく。瞋は字なり。人し。盛提は。諸天瞋恨とも
は字の音は。馬みく。仏ゑ。みうしめ。ゑ。ま。測ゑ。
盛提ゑいつべうじ。

一 ゑいくし。紀つぐ。れ。オ七十 孟 退こ。ゆり。○ゑ。梅 はるの
語は平。ゑは。冠ゆり。退こ。はゑ。ゆ。ぐ。ゑ。ぐ。つ。ぐ。ま。ゑ
ゆ。ま。ゑ。ま。ゑ。ふ。も。大事。ゑ。ま。ふ。ゑ。ゑ。ま。ゑ。ま。ゑ。ま

中ごろまでは、いとあざやかなるべけれど、初ごろまでは、くちだるまでとなるべし。
結ぶ方は、ものの中ばかりなるべし。
ものの名をえべし。

一 蓮は、おのづから泥ひぢめぶるものなれども、世にあるとおもひつ 廿五 ○
と歌 泥いけばぶるもの、めでたくもあるかな。
めでたくもあるかな。

一 世は中を野にいりけるとぞいふ。
六結る。

いとかなしきものなれば、高砂の松の野もんもなつかし 廿八 ○と歌
一 彼中の高砂 ○と歌 ものをいふ心地もすなり
ものをいふ心地もすなり。
ぐしたるものひとをみこしつつぐべし。

一 刃をもぬぎ、一渡の川はそこ和歌を書きかけて捨てるぶべし 枕十
○と歌 ものの名所の第十。
万葉 河おつるこゑもよけれども、かけてせく紅ぞ乱れ
なるものとなるものとなるものとなるものとなる
一 ものなるものとなるものでこそ。枕二 ○と歌 古今
なるものとなるものとなるものとなるものとなる
一 蓮は、ものとなるものとなるものとなるものとなる
ものとなるものとなるものとなるものとなる。枕三 ○と歌
ものとなるものとなるものとなるものとなる
糸雅云、荷、笑葉、其實、蓮 音連 蓮子。和名 波知須乃美。
一 小鷹がりとおつるぐる 廿九 小鷹狩 万葉 ○と歌 河海
まひうちとる。百廿九の歌。始鷹狩 小鷹狩 ものとなる。小鷹
狩とかくべし。始鷹狩とは、小鷹狩なり。

一かぢをうしなひてくるしみたること　世二才
○とう梅　和泉或ア家に　諸本此
一なかれをもちひること　世六
○とう梅　諸本此
一蘭はなるよりはなるゝ風にしたがひ
　秋風はなるゝつゆをもうしなふ　世八ウ
○とう梅　五世孫九代
一いとなせいたること　世九ウ
碁師歌二首　こゝ。目茅四首。碁檀越こゝのりの
ひ。碁師歌。碁師。碁平。同じ歌
一ひとり楊ゝ　世十ウ
○とう梅　淮南子云。若行
獨梁。不免無人。不競其容。六帖ホ三。楊はとる。
はなの弟彼の猶のひとつ楊をもとりへばひとつもせび

一ふるくもそのほどのあともいひさしつ　杜十四○とう梅
はふるくはなは同。まるはるはびはるはるはる。
一ふはなさびのやま　六十七　盃　惡○とう梅　神代紀ニ。神性と
うるはしくかなしくうつくしくあり。物はなさびはなくはひくく
ありうまれ。人はなるはなるはなるは

[illegible]

一 [illegible] 八丁 孟生主家無等倫。日本紀王之子孫也。○[illegible]

一 [illegible] 通[illegible]。[illegible]。[illegible]。

中うの歌枕、峯ゆ。吉野、近江ゆ。羽山、うらこ、ゆ。
りゝ。ゆ。ゆ。ゆ。新古今賀部。ゆ。ゆ。近江。
他彼ゆ。作者。考べし。

一 ひ花の日ゝ。さくまつりつる 廿一 細 海藻みるべし 出
うつがゆ。ひ文ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。
いへり。○こゝ物 ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。
ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。

[illegible]

右源註玄遺七巻一覽湖月抄之次卒尓註
愚意ゝ備他日校考也（後加大意一巻共八巻全）

元禄九年七月十九日　　密乗沙門契沖

同十一年正月五日一校畢

天保五午仲秋刻成

書林

東都　須原茂兵衛
浪花　葛城長兵衛
　　大野木市五郎
京都　風月庄左衛門
　　吉田四良右衛門
　　朝倉儀助
　　大田治助
　　出雲寺文次郎